



# 學術左報

韓国・東亞大學校(釜山)と  
国際学術交流協定締結  
東國大學校(ソウル)に次いで2校目

本学は昨年九月、韓国・東亞大학교(釜山)と国際学術交流協定を結びました。韓国の大学との国際学術交流協定についても東國大학교(ソウル)に次いで二校目となります。

東國大학교と協定を締結したのは二〇〇〇年の韓国アーツで、年々、語学科目「韓国語」の履修者も増えており、韓国での語学学習を希望する声が出るなど全体的に韓国語への学習意欲が高まってきたことが背景にあります。

東亞大학교は外国人向けの韓国語研修プログラムが充実



これまで韓国の交換校は二つとなりますが、東國大はそれと並んでこれまでどおり交換留学制度を実施し、東亞大は韓国語の短期語学研修を中心とした学生交換プログラムを中心として実施し、韓国語の短期語学研修を中心とした学生交換プログラムを実施する」とを計画しています。

布施学長が同校を訪問した。とへの返礼と親善訪問が主な目的でした。



# 教員採用候 高校英語 臨床心理学

# 補者選考検査 25倍の難

# 難関突破 教諭免許申請中

教員採用候補者

**25倍の難関突破**

する規程を制定し、全学体制で保護対策を講じています。

## **個人情報保護に関する 本学の取り組みについて**

## 起業化促進支援セミナーを開催

ランド資源「小麦」「レンガ」などの事業化に携わってきたT別市やNPO法人の関係者  
〔工判〕ランド事典（）アが生まれ、市民七〇人のアンケートをもとに、  
（）

# 大学院臨床心理学研究科 臨床心理士資格試験10名合格 過去最高の合格者数

日本臨床心理士資格認定会が実施する「臨床心理士」資格試験が昨年十月、十一月に実施され、十名の大学院臨床心理学研究科修業生が臨床心理士として新たに出発をすることになりました。

資格試験は筆記試験（一次試験）、口述面接試験（二次試験）で実施され、今回受験した十二名のうち、二次試験に進んだ十名は全員が合格しました（合格率八三・三九%）。全体合格率は三月末発表。昨年の全体合格率は六四・〇九%。二次試験は、それまでに担当したケースなど心理臨床経験十五年に臨床心理士資格認定

会が実施する「臨床心理士」資格試験で全国で最も多く不格もなかつたことは臨床心理学研究科が「心理臨床センター」を中心としていることになります。

「実践的教育」の成果が表れたものといえましょう。心理臨床センターには年間延べ千名を超える来談者があり、すべての院生が二~三のケースを担当するとともに、個別のセーバーピジョン及び院生全員参加の検討の場に出席する体制を整えています。

こうした臨床実習のための相談施設や臨床心理学研究科の教員組織、カリキュラムは早成

平成十七年度は臨床心理学研究科（合格者十一名）から七名が進学する予定です。このうち五名は人文科学系から、二名は医学部から、二名は理系から進学します。

二十一大学で全国で最も多く不格もなかつたことは心理臨床センターで実施する「心理臨床センター」を中心としていることになります。

「実践的教育」の成果が表れたものといえましょう。心理臨床センターには年間延べ千名を超える来談者があり、すべての院生が二~三のケースを担当するとともに、個別のセーバーピジョン及び院生全員参加の検討の場に出席する体制を整えています。

こうした臨床実習のための相談施設や臨床心理学研究科の教員組織、カリキュラムは早成